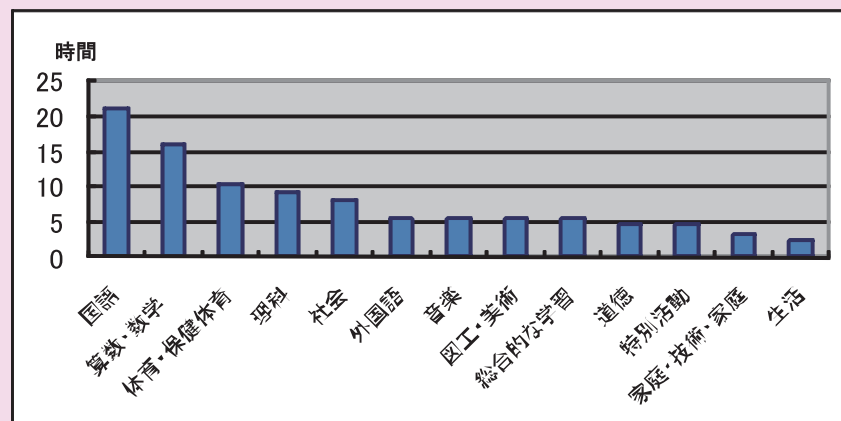


生活に根ざした学びのための時間はどうなっているか

小・中学校の合計総授業時間数に占める各教科の時間数

—小学校2011年実施、中学校2012年実施—



高等学校は（2013年実施）卒業要件単位74単位以上のうち家庭科は、2.7%～5.4%である。



生活やものづくり に必要な学びの充実を めざすネットワーク

2010年7月24日現在

参加のご案内

ネットワーク設立の趣意

ここ数年、子ども達の「学力低下」が叫ばれ、再び知識重視の動きが見られます。一方、子ども達は、バーチャルな体験はしても実体験が乏しいことや、勉強に面白さを感じなかったり、学校に自分の居場所がないと感じている子ども達も多数存在していることが指摘されて久しくなります。このような今、学校は子ども達にどのような教育を行ったらいいのか、改めて議論していく必要があると考えます。

子ども達の人間性豊かな成長は、手と頭、そして五感を使って、モノや人とかかわるという生活そのものを実践することによって培われます。それを通して子ども達は、自分に自信をもち、自分と他者、自分達と周囲の諸環境について考え、自立の基礎を身につけていきます。また、人間は生産活動とそれらの営みの積み重ねの中で、諸科学を発達させてきました。子ども達は、それらの諸科学を学ぶと同時に、自分自身や、自分の性と自分の生き方（キャリア）について考えたり自分達の生活に関して十分に学ぶ必要があります。

ところで、日本は今、少子高齢社会・高度情報社会を迎えるとともに、世界の人々とともに持続可能な社会を構築することが求められています。このような時代に生きる子ども達には、男女共同参画社会の視点から、子どもから高齢者まで全ての人々が安全・安心に暮らせるワーク・ライフ・バランスのとれた家族・地域・社会のあり方や、消費者の自立と社会参加、さらに、環境に負担をかけないライフスタイルや、情報通信ネットワークや新しい技術の適切な活用等についての学びが必要です。

これらの教育を、現実の生活に即して担ってきたのは、「家庭」「技術・家庭」の教科です。ところが、これらの教科の授業総時間数は、小・中・高等学校を通じて、最も少なくなっています。

しかし、上記で述べてきたように、これらの学びは、人間らしく成長し、かつ、未来の社会を担う子ども達にとって軽視してはならない学びです。

そこで、改めて学校教育の目的やその教育課程全体を検討し、自分や自分達の生活やものづくりに必要な学びを充実させるための活動をしていくことにしました。この趣意に賛同する個人・団体でネットワークをつくり、その実現に向けて取り組みたいと思います。

多くの方々にご参加くださいますよう、ここによびかけます。



ネットワークの活動と参加方法・運営体制

ネットワークの活動

1. 学校や教育課程のあり方などについて学習を深め、生活やものづくりに必要な学びを充実させることについて意見交換会や学習会を開きます。
2. ネットワークへの参加団体・個人を増やします。
3. 毎年度総会を開催し、その年度の具体的な目標を決め行動します。
4. 必要に応じて文部科学省等にロビー活動を行います。
5. 上記にかかわらず、それぞれの個人・団体の総意でできることをします。
6. その他

参加方法

- ①ネットワーク参加者：趣意に賛同する個人・団体が参加者となります。
申込書を送信し、年会費をお振込みくださった時点で入会が完了します。
*参加申込み書は日本家庭科教育学会のHP
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jiheee/index.html> からダウンロードし、下記のネットワーク事務局メールアドレスに添付ファイル(Excel)で送信してください。やむをえない場合はファックスでお送りください。
- ②ネットワーク年会費
個人 1口 1,000円 何口でも可
団体 1口 5,000円 なるべく2口以上
*それ以外に活動資金のための任意の寄付金も募っています。
*振込先：ゆうちょ銀行・郵便局 口座番号 00170-9-358470
加入者名 生活の学びのネットワーク

運営体制 世話人(50音順)

天野晴子(日本消費者教育学会) 安東茂樹(日本産業技術教育学会) 猪又美栄子((社)日本家政学会) 倉元綾子((社)日本家政学会家政教育部会) 〇河野公子(全国家庭科教育協会) 齊藤弘子(家庭科教育研究者連盟) 〇鶴田敦子(日本家庭科教育学会) 〇沼口博(産業教育研究連盟)

◎世話人代表 〇世話人副代表

設立総会： 2010年9月19日(日) 14:00~17:00

開催場所： 聖心女子大学 宮代ホール(東京)



よびかけ人(2010年7月24日現在)

日本家庭科教育学会 日本産業技術教育学会 (社)日本家政学会 (社)日本家政学会家政教育部会 日本消費者教育学会 全国家庭科教育協会(ZKK) 家庭科教育研究者連盟 産業教育研究連盟 日本調理科学会 大学家庭科教育研究会

本田由紀(東京大学教授) 小玉重夫(東京大学教授) 中間美砂子(元日本家庭科教育学会会長) 牧野カツコ(お茶の水女子大学名誉教授) 大竹美登利(東京学芸大学教授) 小玉亮子(お茶の水女子大学准教授) 金田利子(同朋大学教授) 垣内国光(明星大学教授) 須藤敏昭(大東文化大学教授) 梅原利夫(和光大学教授)



連絡先

〒112-0012
東京都文京区大塚4-39-11 仲町YTビル3階
日本家庭科教育学会事務局気付
「生活やものづくりに必要な学びの充実をめざすネットワーク」事務局
メールアドレス：seikatsu_nt@yahoo.co.jp
FAX：03-3902-1668